

予報期間 3月14日から3月20日まで

### ◆今期間のポイント

#### <主要じょう乱の概要>

- 16日は、高気圧が本州付近～日本の南へ東進する見込み。
- 17日は、北日本付近へ進む低気圧からのびる前線が、東～西日本付近を通過する。
- 18～20日の日本付近は、強弱はあるが、概ね冬型の気圧配置となる見込み。

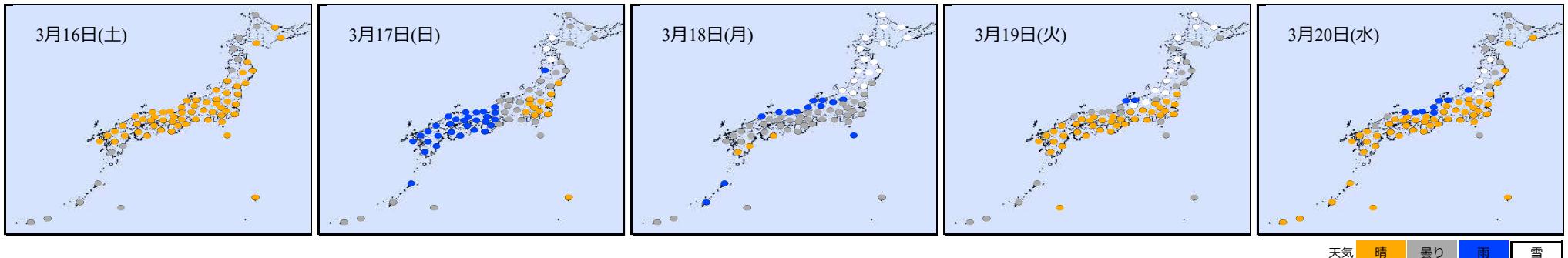
#### <防災事項> 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- 令和6年能登半島地震で揺れの大きかった地方は地盤の緩んでいる所があり、少しの雨でも土砂災害の危険度が高まるおそれがある。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

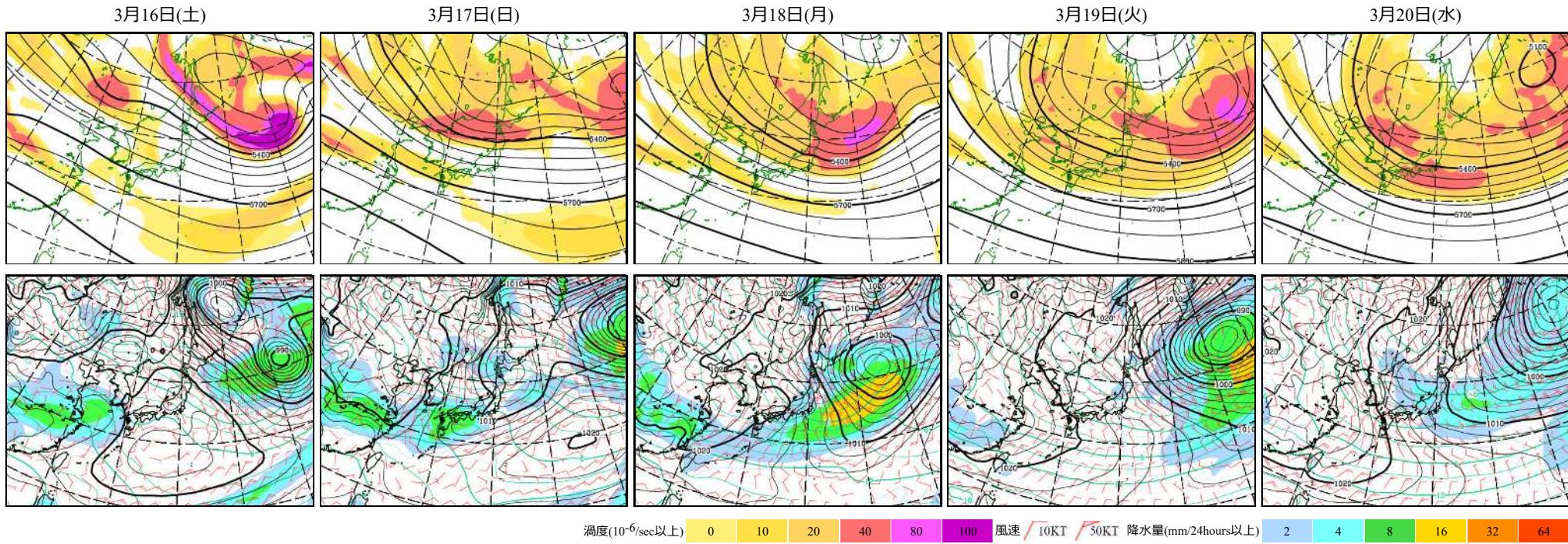
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

### ◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

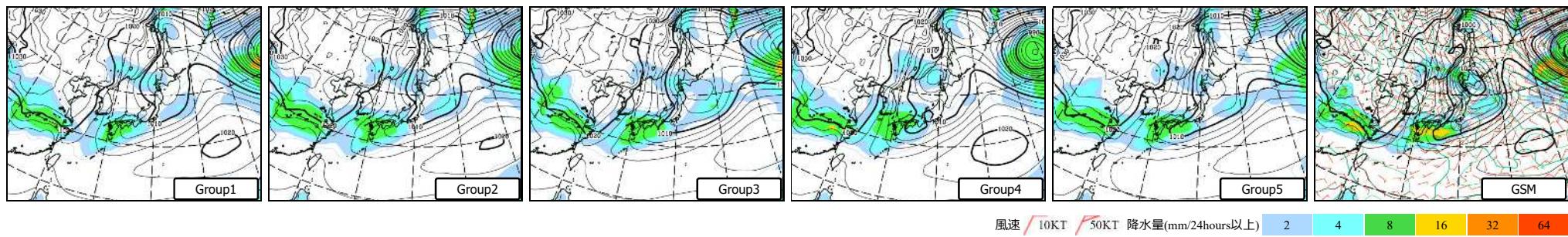


- 北・東日本日本海側は、曇りや雪または雨の日が多い見込み。16日は、晴れる所もある。
- 北日本太平洋側は、16～17日と19～20日は晴れまたは曇り。18日は、雪や雨の降る所が多い。
- 東日本太平洋側は、16～17日と19～20日は晴れる所が多く、18日は雲が広がりやすい。
- 西日本は、16日と19～20日は晴れる所が多く、17～18日は曇りや雨または雪の所が多い。
- 沖縄・奄美は、16～19日は曇りや雨の所が多く、20日は晴れる見込み。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆3月17日のENSクラスター平均(グループ1～5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料（ENS）は、17日の北・東・西日本では、降水の可能性が昨日資料より大きくなった所が多い。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 概ね最新ENSを基に考える。

今日から明後日までの解説は「短期予報解説資料」を参照ください。